

田植えの進捗状況 (5月11日現在概況速報) について

農業普及技術課 農業革新支援担当

各農業改良普及センターでは5月11日現在の田植えの進捗状況について一斉調査を実施しました。調査の結果及び栽培管理のポイントは以下のとおりです。

【調査結果】

- 5月11日現在、県全体の田植え進捗率は13%であり、平年並みに始期(10%終了)を迎えています。
- 地帯別では、北上川下流18%、東部15%となっています。なお、北上川上流及び北部においても、耕起・代かき等のほ場準備は順調に行われており、県全体の田植えは5月16日頃から本格化し、概ね適期内に作業が行われる見通しです。

表1 地帯別田植えの進捗状況 (5月11日現在, 各農業改良普及センター調べ)

地帯名	過年次同時期の 田植え進捗率 (%)				田植え時期 (月/日)		
	本年	R1	H30	H29	平年値		
					始期	盛期	終期
北上川上流	1	0	1	0	5/17	5/21	5/26
北上川下流	18	10	14	16	5/10	5/15	5/22
東 部	15	11	11	16	5/12	5/16	5/23
北 部	0	0	0	0	5/20	5/24	5/28
県 全 体	13	7	10	11	5/12	5/17	5/23

注1) 平年値は平成22年～令和元年の10カ年平均(地帯別作付面積による加重平均)

注2) 始期: 10%終了、盛期: 50%終了、終期: 90%終了

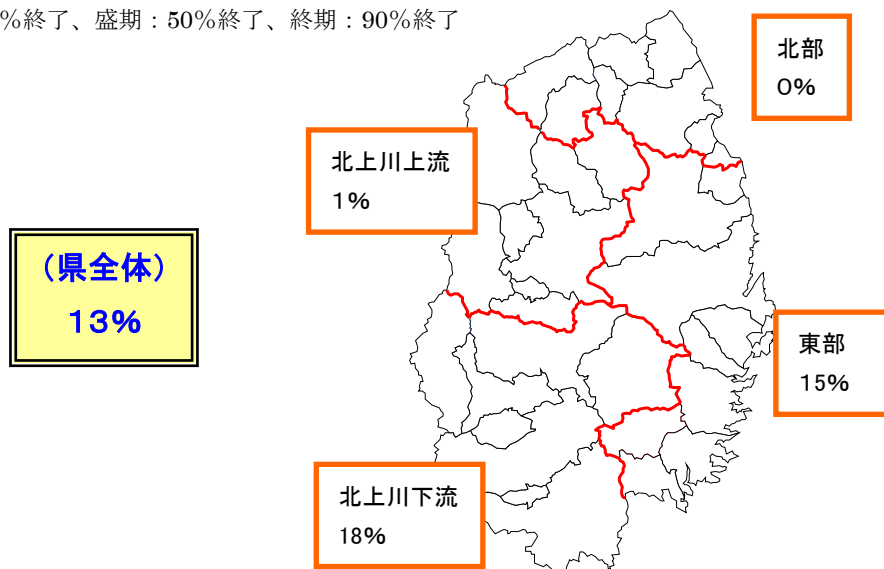


図1 地帯別田植え進捗率 (5月11日現在: 各農業改良普及センター調べ)

3 栽培管理のポイント

(1) 田植えは、寒い日や風雨の日を避けてできるだけ暖かい日に行うこと。

※県内の田植え適期……県南部: 5月10日～20日頃、その他の地域: 5月15日～25日頃

(2) 田植え直後は、植え傷みにより苗の吸水力が低下するので、やや深めの水管理(葉先が2～3cm水面から出る程度)とし、水温の確保に努めること。

(3) 入水は、気温と水温の温度差が少ない朝方や夕方に行い、日中はなるべく水を動かさないこと。

(4) 気温が15℃以下の時は、葉先が出る程度の深水管理とするが、低温でも日照があり風のない日は、日中は浅水にして水温や地温の上昇をはかること。